

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する包括評価シート【評価対象期間】  
令和元年度～令和4年度

施設概要			
施設名(所在地)	最上義光歴史館 山形市大手町1-53		
施設目的	近世初期において山形の基礎を築いた最上義光に関する調査研究及び歴史資料等の収集・保管・展示並びに関連事業の開催により、広く市民の学習、学術及び郷土文化の普及と発展に資することを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	公益財団法人 山形市文化振興事業団(選定方法:非公募)		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 歴史館の事業の実施に関すること 2 歴史館の建物又は附属設備若しくは資料の維持管理に関すること 3 条例に規定する入館の制限に関すること 4 規則で定めるところにより、開館時間の変更、休館日の変更、臨時に休館すること 等		
利用料金制導入の有無	無		
施設担当課	企画調整部文化創造都市課(旧:文化振興課)		
評価区分	評価項目	評価ポイント	審査委員会
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	A
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	A
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	A
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
の満足度調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	S
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	A

## 施設担当課の考え方

令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響と施設点検等のための臨時休館により、常設展示のリニューアルなど評価できる取組があったものの、利用人数が伸びなかったのは残念だった。令和4年度は、外部の団体との連携、これまでのボランティアを対象とした講座の受講対象の拡大など、最上義光歴史館を広く深く知ってもらった新たな取組を積極的に実施している点は大変評価できる。より最上義光への理解を深める展示等に取り組んでほしい。

また、改正された博物館法（令和5年4月1日施行）では、博物館の事業に「資料のデジタル・アーカイブ化」が追加され、また、「他館との連携」、「地域の多様な主体との連携・協力による文化観光その他の活動」の努力義務が規定された。最上義光歴史館では既に実施しているものの、更なるバージョンアップを図り、集客につなげるとともに、社会教育施設・文化施設として地域の活力向上に貢献できるよう事業を実施に努めてほしい。また、最上義光歴史館が保有する貴重な資料をより多くの人に知ってもらえるよう、さらに「資料のデジタル・アーカイブ化」を進めるとともに様々な手段を使った効果的な広報にも努めてほしい。

## 包括評価の結果

全ての評価項目がB評価以上であるため、総合評価は「良好」とする。